



令和3年4月19日

東京都千代田区四番町5番地3
科学技術振興機構（JST）
Tel：03-5214-8404（広報課）
URL <https://www.jst.go.jp>

ベルmont・フォーラムCRA（国際共同研究活動）
「Towards Sustainability of Soils
& Groundwater for Society
（土壌と地下水の持続可能な社会利用をめざして）」
における新規採択課題の決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、ベルmont・フォーラム^{注1} CRA（Collaborative Research Action：国際共同研究活動^{注2}）において、新規採択課題を決定しました（別紙1）。

この度、JSTは7カ国・地域7機関のファンディングエージェンシー（研究助成機関）と共同で、「Towards Sustainability of Soils & Groundwater for Society（土壌と地下水の持続可能な社会利用をめざして）」分野の共同研究課題を募集しました（別紙2、3）。

今回は日本の研究者を含む6件（全体17件）の応募があり、参加国の専門家の評価、ファンディングエージェンシーによる協議により選定された2件（全体6件）の採択を決定しました（別紙4）。

研究実施期間は3年間で予定しています。

注1）ベルmont・フォーラム（Belmont Forum）

ベルmont・フォーラム（2009年設立）とは、地球の環境変動研究を行う世界の主要先進国・新興国のファンディングエージェンシーの集まりです。国際的な資金・研究者を動員し、連携することにより、人類社会の持続可能性を阻む重大な障害を取り除くために必要とする環境関連の研究を加速、深化させることを目的としています。

URL：<https://www.belmontforum.org/>

注2）CRA（Collaborative Research Action：国際共同研究活動）

ベルmont・フォーラムではさまざまな分野において、同時並行的にCRA（国際共同研究活動）を設定しています。多国間（3カ国以上）の共同提案を募り、合同で選考を行い、採択した課題についてそれぞれの国の分担研究をその国のファンディングエージェンシーが資金支援します。

<添付資料>

別紙1：採択課題概要

別紙2：公募に参加したファンディングエージェンシー

別紙3：募集概要

別紙4：評価委員（JST側）

<お問い合わせ先>

科学技術振興機構 国際部

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

佐藤 正樹 (サトウ マサキ)

Tel : 03-5214-7375 Fax : 03-5214-7379

E-mail : belmont[at]jst. go. jp

採択課題概要

課題名		日本側研究代表者 (所属・役職)	課題概要
		相手国側研究代表者 (所属・役職)	
1	地球システムモデルにおける生態系と土地利用の地下水及び土壌との相互作用	日本 金 炯俊 特任准教授 東京大学 生産技術研究所	本研究は、地下水、人間活動、気候システム間の相互依存性の長期変化について、地球システムモデリングと社会経済学的手法を組み合わせることで、社会経済に関する持続可能な将来シナリオの提案を目指す。気候変動とかがいや土地利用変化を含む人間活動の地下水への影響を地球システムモデルに組み込んだシミュレーションと、地域の利害関係者との密接な協働を行うことによりこれを実現する。
		フランス アニアス・ドウシャーン 上級 研究員 フランス国立科学研究センター	
		フランス ピエールーアラン・ジャイエ 研究部長 フランス国立農学研究所	
		米国 ダニエル・クラマー 教授 ミシガン州立大学	
		米国 ヤデュ・ポカレル 准教授 ミシガン州立大学	
		台湾 羅 敏輝 准教授 国立台湾大学	

2	<p>ランドスケープ・土地利用変化、放棄と回復をもたらす社会的要因の国際比較</p>	<p>日本 柴田 英昭 教授 北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター</p>	<p>本研究は、景観および流域レベルでの土地利用変化や、土地放棄に伴う土壌と水の質や機能の変化様式、その成因、社会的価値の変容を分析することで、社会に対する土壌や水の持続性を明らかにし、ステークホルダーとの効果的な協働により、土地利用保全・再生を考慮に入れた土地管理の意思決定をするための基盤の構築を図る。</p>
		<p>米国 <u>チモシー・ホワイト</u> 教授 ペンシルベニア州立大学</p>	
		<p>フランス フィリップ・ル・コエント 研究員 地質・鉱山研究所</p>	
		<p>イタリア マッダレーナ・ペニシ 上級研究員 イタリア学術研究会議</p>	
		<p>台湾 黄 誌川 教授 国立台湾大学</p>	

※氏名に下線がある研究者がコンソーシアムリーダー

公募に参加したファンディングエージェンシー

国・地域名	ファンディングエージェンシー名
日本	Japan Science and Technology Agency (JST)
米国	National Science Foundation (NSF)
フランス	National Research Agency (ANR)
イタリア	National Research Council of Italy (CNR)
カタール	Qatar National Research Foundation (QNRF)
ロシア	Russian Foundation for Basic Research (RFBR)
サウジアラビア	King Abdullah University of Science and Research (KAUST)
台湾	Ministry of Science and Technology (MOST)

募集概要

1. ベルモント・フォーラムの趣旨・目的

ベルモント・フォーラムとは、地球の環境変動研究を行う世界の主要先進国・新興国のファンディングエージェンシー（研究助成機関）および国際的な科学評議会の集まりである。国際的に資金・研究者を動員し連携することにより、人類社会の持続可能性を阻む重大な障害を取り除くために必要とする環境関連の研究を加速させることを目的としている。

各国ファンディングエージェンシーの連携により、各国研究者間のシナジーを創出し、地球環境変動に関わる研究について効率化、加速化、深化を支援するための活動を実施している。毎年テーマを設定し、ワークショップを含む事前の検討などを踏まえ、共同研究公募を実施している。

2. 募集概要

(1) 募集分野および要件

公募参加の3カ国・地域以上の研究者による共同提案であること

(2) 応募資格

日本国内の大学や研究機関、企業などで研究に従事している研究者

(3) 研究実施期間

3年間

(4) 研究予算額（JST側）

1課題当たり、総額として上限3,000万円（直接経費の10%の間接経費を含む）

(5) 評価方法

公募参加機関が指名した評価委員が分担して査読した結果を踏まえて、同評価委員の共同パネル形式にて評価が行われた。その評価スコアと公募参加機関による議論を経て採択課題を選定した。

(6) 評価基準

- 1) 科学的卓越性ープロジェクトクオリティ
- 2) 実施インパクトー適合性と有用性
- 3) 研究チームクオリティと学際性
- 4) リソースと管理ークオリティと効率性

評価委員（JST側）

氏名	所属・役職	備考
甲斐田 直子	筑波大学 准教授	アドバイザー
和田 義英	国際応用システム分析研究所 水資源プログラム長	アドバイザー